

平成29年度
自己評価報告書
(本編)

(専門学校における評価ガイドライン
平成25年3月 生涯学習政策局 準拠版)

平成30年8月26日

準学校法人古藤学園 浦和専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価	1	基準5 学生支援.....	21
基準1 教育理念・目的・育成人材像	2	5-16 就職等進路	22
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応	23
基準2 学校運営	4	5-18 学生相談.....	24
2-2 運営方針	5	5-19 学生生活.....	25
2-3 事業計画	6	5-20 保護者との連携.....	27
2-4 運営組織	7	5-21 卒業生・社会人.....	28
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	29
2-6 意思決定システム	9	6-22 施設・設備等	30
2-7 情報システム	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	31
基準3 教育活動	11	6-24 防災・安全管理.....	32
3-8 目標の設定.....	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	33
3-9 教育方法・評価等	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	34
3-10 成績評価・単位認定等	14	7-26 入学選考.....	35
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	15	7-27 学納金.....	36
3-12 教員・教員組織.....	16	基準8 財務.....	37
基準4 学修支援	17	8-28 財務基盤.....	38
4-13 就職率	18	8-29 予算・収支計画.....	39
4-14 資格・免許の取得率.....	19	8-30 監査.....	40
4-15 卒業生の社会的評価.....	20	8-31 財務情報の公開	41

基準 9 法令等の遵守	42	9-32 関係法令、設置基準等の遵守	43
		9-33 個人情報保護	44
		9-34 学校評価	45
		9-35 教育情報の公開	46
基準 10 社会貢献・地域貢献	47	10-36 社会貢献・地域貢献	48
		10-37 ボランティア活動	49
基準 11 国際交流	50	11-38 受け入れ	51
		11-39 留学生の在籍管理	51
		11-40 留学生の学修・生活指導	51
		11-41 学習成果の評価	51

(目標策定 2017年 4月1日 自己評価実施 2018年 8月26日)

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成29年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>本校は、知性の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人または商業人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会において誇りある恒心をもつ、有徳の人材を育成することを目的として、発足当時から産・学が連携し、社会で必要とされる高度な知識と技術を身に付けた人間性豊かな「次代の職業人」の育成に努めています。</p> <p>また、本校では、教職員一同が職業分野における専門性を身に付けることは重要課題ではあるが、その根底にある職業人として必要な人間性やモラルの養成にも力を注いでいる。</p> <p>教育理念に基づき、本校の教育目標を次のように定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人間性：人間性豊かな医療業界・商業界のリーダーを育成。 ② ホスピタリティー（思いやりの心）：職業人としての使命感と社会に貢献できる力を身につける。 ③ 実践力：各職業分野における現代のニーズに即した実践的かつ専門的な知識・技術の修得。 	<p>本校が育てる医療人または商業人を取り巻く環境のダイナミックな変化を把握しながら、その活躍が期待できる領域として、健康維持・増進や予防医学、リハビリ分野または情報・IT技術の素養が求められる商業・サービス業の分野に着目し、それぞれの領域で必要とされる知識と技術も身につけた上で、優れた人間性を備え、新しい時代における業界のリーダーとなりうる人材の育成を目指す。</p>	<p>健康維持・増進や予防医学、リハビリ分野については正しい身体機能のしくみの理解と実践応用、医療器具・機械の正確な操作、そして国家試験の全員合格を志向し、達成度は年々向上している。</p> <p>情報・IT技術から商業・サービス業へとつながる分野においては、ITとコミュニケーション技術の堅実な習得から、過去低迷しがちだった就職率の「3年で倍増計画」をかかげ、学生の意識改革を進める途上にある。</p>	<p>学生への職業に関する意識付けとして職業教育の充実を図る。</p> <p>現場シミュレーション、現場実習やインターンシップを積極的に取り入れ、自主的に行動させ、早く職業に慣れてもらうことを眼目に、現実的・実践的な指導を心がけている。</p>

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	稲塚 久馬
--------	----------------	-------	-------

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、知性の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人或いは商業人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会において誇りある恒心をもつ、有徳の人材を育成することを目的として、発足当時から産・学が連携し、社会で必要とされる高度な知識と技術を身に付けた人間性豊かな「次代の医療人」の育成に努めています。</p> <p>また、本校では、教職員一同が職業分野における専門性を身に付けることは重要課題ではあるが、その根底にある職業人として必要な人間性やモラルの養成にも力を注いでいる。</p> <p>教育理念に基づき、本校の教育目標を次のように定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人間性：人間性豊かな医療業界・商業界のリーダーを育成。 ② ホスピタリティー（思いやりの心）：職業としての使命感と社会に貢献できる力を身につける。 ③ 実践力：各職業分野における現代のニーズに即した実践的かつ専門的な知識・技術の修得。 	<p>本校は、医療課程の鍼灸科・鍼灸科Ⅱ部（夜間）、視能訓練士科と商業実務課程の情報IT科、情報ビジネス科を擁する。</p> <p>他と明確に違う点の1は、各科のタイムシェアが明確であること。すなわち午前部の視能訓練士科、昼間部の情報IT科、情報ビジネス科、午後部の鍼灸科、夜間部の鍼灸科Ⅱ部の構成である。</p> <p>2は各科の年齢構成、キャラクター構成がかなり明別されていること。すなわち視能訓練士科は高校新卒の19才から20代、鍼灸2科は社会人経験を経た30-40代、情報2科は東南アジア各国からの20代留学生が多いことである。</p> <p>かような時間と学生の構成は、本校の「明るく外向的で、友情と人間的温かみにあふれ、夜まで活気がある」独特の校風を醸している。</p> <p>本校が学生を有為な人材として社会に送り出すことをモチベーションとして熱心であるのは、この校風が支えとなっているからである。</p> <p>すべての教職員は、このモチベーションを持って、精力的に理念と目的に向かっていく。</p>

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	稲塚 久馬
--------	----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

1-1 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	医療人または商業人を養成する施設として、理念・目的・育成人材像は、わかりやすい表現で明確に定める。	本校の目的は、学則第1条と学校案内に明記し、理事長・校長のメッセージとして分かりやすく解説している。	オリエンテーションなどを通じて啓蒙・啓発を行う。	浦和専門学校学則 浦和専門学校案内
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	専門分野に関する業界情報を常に把握し、時代に即した業界等の人材ニーズに応じるための教育を行うべきである。	設立母体である専門分野に関する業界団体が、学校経営や教育に深く係わり、育成人材像を共有した上で、学校を運営している。	教育に必要な専門知識を持つ人材を外部講師として積極的に登用している。	浦和専門学校案内 学校ホームページ 講師紹介欄
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	理念等の達成に向けて、時代に即した特色ある教育活動に取り組むべきである。	新しい分野等で活躍する業界の専門家を講師として迎え入れ、教育を行っている。		
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	業界の専門分野に対する社会のニーズならびに、外的・内的環境を把握し、専門分野の可能性を高める努力をする。	現役の臨床家を教育課程編成委員会の委員として招き、常に業界の動向を踏まえた教育の実践に努力している。	詳細なヒアリングを実施することで授業内容にフィードバックする。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像について、明確に定め学内外に周知されている。入学生の特徴の変化や社会のニーズを反映した人材育成を実施している。	学校創設当初より現在に至るまで、教育理念等については変更なく引き継がれており、育成人物像については、適宜、在校生の変化や社会のニーズに対応できるよう改善に取り組んでいる。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営について、毎年度、学園全体として捉え、部門毎に事業計画書を作成し、理事会、評議員会の承認を得て、実施している。</p> <p>学校運営組織としては、毎月、全教職員が出席する教職員会議や、校長・教務部長・学科長等で構成される教務会、そして各学科の専任教員で構成される学科会議を開催している。また、校内の情報伝達や情報共有はグループウェアを活用し、円滑な学校運営に必要な情報を共有し、各部門が業務に取り組んでいる。</p> <p>また、学生との連絡を円滑にする上でも、教務（教員）と事務（学生事務）の分掌によりその役割分担を明確にし、遅滞や不備のない体制を構築している。</p> <p>掲示板やホームページをリニューアルするなどして、学内で実施されている活動を学内のみならず、学外にも分かりやすく伝えている。</p>	<p>教務会の下部組織として国家試験対策委員会や認定実技試験委員会等の組織を設置する事により、細部に渡り、より良い教育の実践を目指している。従来、教務（教員）主体の委員会構成を見直し、事務職員が加わることで様々な意見を集約している。その結果、学生目線の学校運営に寄与している。資格予備校のような資格取得のみに偏らず、職業に直結する職業教育やゼミナールなどを通じた経験・体験が自らの卒業後の進路イメージになるような工夫を実施している。</p>

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

2-2 運営方針

2-2 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学園理事会、評議員会において承認された年次事業計画、年次予算に基づき運営する。	学園規則においては、社会の状況に応じ、理事会で常に整備を行っている。また、学園規定を受けた各部門の規定についても常に見直しを実施している。	常に変化する社会ニーズの把握する。 専門家との意見交換や行政の発信する情報を参考に分析する。	平成 30年度事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成している事業計画書は理事会によって承認されており、この事業計画書によって学校運営方針は定められている。 学校運営方針の校内への周知については常に会議や連絡を行い、全教職員が共有できるように努めている。	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

2-3 事業計画

2-3 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	年度毎に詳細な事業計画を定め、学園理事会、評議員会にて承認を得る。	毎年度、部門毎に事業計画書を作成し、理事会、評議員会において承認を受けている。	当学園に長く在籍して、事業計画の変遷を熟知した現理事長と古参職員達により、適正に計画されている。	平成30年度事業計画書 平成30年度事業報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、部門毎における事業計画書ならびに事業報告書を作成している。事業計画書は常任理事において精査され、学園理事会、評議員会において承認を受けている。	

最終更新日付	2018年 8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-------------	-------	-------

2-4 運営組織

2-4 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	学園理事会、評議員会において承認された組織規程、事業計画、予算に基づき、運営する。	毎年度、承認された組織規程、事業計画書に基づき、監査・運営している。	2017年秋に刷新された理事会及び評議員会が舵をとり、高い意識をもって適切に運営されている	平成 30 年度事業計画書
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学園理事会、評議員会において承認された事業計画について、教職員全員に告知する。	毎年度初めに、教職員全員を対象とした教職員研修会を開催し、次年度の運営方針について、説明を行い、周知徹底を図っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度作成している事業計画書は、学園理事会、評議員会において承認されており、この事業計画書によって当該年度の学校運営方針を定めている。教職員に対する周知は、毎年度教員便覧を作成し、毎年度末に行われる次年度（当該年度）に向けての教職員研修会において実施されている。	各部門（学校）に、学園理事の推薦と理事長の任命を受けた統括長を配置しており、学園全体における 部門の役割を情報共有することができる組織となっている。 定例会議を実施している。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	学校運営の状況を考慮し、法人本部において計画的に人員の確保及び配置を行う。 学園の教職員給与規定に基づき適切に運用する。	学校運営の状況を考慮し、法人本部において人員の確保及び配置を行っている。 学園の教職員給与規定に基づき、支給している。	旧来の個人が差配する人事・給与制度から脱却し、2017年秋より複数人の合議による公正明朗な制度整備・運営が行われるようになった。	就業規則 教職員名簿 自己評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事及び賃金に関する規程は、学校法人古藤学園。専任教職員就業規則、非常勤者就業規則で定め、整備している。	規程は正しく準用され、適切な配分が行われるように改善された。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

2-6 意思決定システム

2-6 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校法人古藤学園寄附行為に基づき、理事会を中心とした意思決定システムを構築する。	学園においては、寄付行為及び事務分掌規程に基づき、意思決定の階層、権限を明確にしている。 学校においては、学則に基づき、意思決定を実施している。	意思決定の迅速化を図るためシステムの電子化による効率化・共有化を図る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
起案は事業計画に基づいて各担当者が行い、各部署の決済順序に従い稟議決済することにより意思決定を図っている。	各部門（学校）に、理事より統括長を配置することにより、学校運営に関する起案から決裁までについて迅速な対応が可能となっている。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

2-7 情報システム

2-7 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学園全体及び学校内でのネットワーク構築により、業務の迅速化、効率化を図る。	学籍管理システムならびに、学校内でのネットワーク化の構築を進めており、情報の共有、業務の効率化を図っている。	古藤学園、その他グループ校との情報ネットワークの一元化。ネットワークセキュリティの強化。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務の効率化を図るため、教職員全員が専用のパソコンおよびメールアドレスが配布され、学校内ネットワークを構築し、情報共有や業務の効率化を図っている。	個人情報保護などセキュリティの観点から、学生の情報管理用にインターネットを含む LAN ネットワークとの接続を遮断した専用パソコンを導入している。データのバックアップ体制を構築している。

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

(3)

基準3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全体目標として教務会および各学科が示す教育指針と毎年の目標を定め、医療或いは商業実務を学ぶ姿勢や、学生としての身だしなみ、言葉遣い等の躰教育も取り組んでおり業界のニーズに応える社会人教育を行っている。</p> <p>鍼灸科、視能訓練士科、情報IT科、情報ビジネス科ともに、基礎分野および専門基礎分野の担当者の意見を取り入れ、全教員に対する意思統一を持って取り組む。これは各担当の年間教育にとどまらず在校中の3年間での専門教育の達成を目指している。</p> <p>カリキュラムに関しては、法令の定めるもの即ち「はり師およびきゅう師に関する法律施行令」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、およびきゅう師に係る学校養成施設認定規則」「視能訓練士法」に基づき指定単位数以上の単位取得をさせている。</p> <p>基礎医学としての西洋医学を十分に学び、鍼灸科はそこに東洋医学の知識、技術を積み上げる。西洋医学的な治療法だけでは対応できない患者を、東洋医学のみに偏らず西洋医学の医療機関と協力して鍼灸治療が実践できるように、信頼される鍼灸師になる教育を目指す。</p> <p>医療両科とも、国家試験合格率100%を目標とし国家試験対策委員会により、模擬試験、実力試験等を実施・フィードバックし、学生の学習習熟度を高めている。</p> <p>情報IT科、情報ビジネス科にあっては、ITとコミュニケーション技術の堅実な習得から、過去低迷しがちだった就職率の「3年で倍増計画」をかかげ、学生の意識改革を進める途上にある。</p>	<p>各業界の動向を毎年度確認し、時流に沿った教育目標を定めるとともに授業シラバスも随時年度前に作成して、学生への学習意欲向上と実践的な知識と技術が融合して将来の臨床現場で知恵を働かすことができる応用力のある学生を育てることを実践している。</p> <p>各施行令、学校養成施設認定規則等の資格取得指定単位以外にも、本校独自のゼミナール科目を設け、業界団体および外部企業等からの講師を招聘し、より実践的な知識や技術を伝授する機会を与えている。</p> <p>実施アンケートにより、学生がより興味を持ち積極的に参加できる環境を整備している。</p>

最終更新日付

2018年8月26日

記載責任者

竹岡 宣博

3-8 目標の設定

3-8 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	業界等と連携を図ることにより業界の求められる人物像を把握し、目標レベルに近づけるように教育課程編成ならびに実施方針を定める。	教育課程編成委員に業界関係者を配置し、業界の求められる人物像に則した教育課程の編成方針や実施方針を定める。	学生個人が目指している人物像と業界の求められる人物像に差異がみられる。学生がいかにかこのことを理解し納得して就学意欲に結び付けられるかが課題である。	
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確に（成文化）し運営する。詳細についてはシラバスで明記する。	学年毎の知識ならびに実技の達成レベルを明確にし、その内容はシラバス等に明記している。	全科目、全授業担当者別に詳細なシラバス提出を義務付けているが、今後は学生の理解度に偏りが見られる為、内容にある程度の幅を持った進行が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
多様化する業界の求められる人物像を3年間で教授することは困難であるため、限られた教育期間で就業に必要な基礎的な知識・技術の修得を目指す教育課程を編成している。具体的な授業内容については、到達目標、知識・技能の標準、評価の基準を明示し、学生に公表している。	業界の求められる人物像に対しては、職業教育やゼミナールなどの活動を通して教授し、かつ個人的に考察する時間を与え、できる限り担保することを心掛けている。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	椎名賢太郎
--------	------------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

3-9 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	業界団体関係者等の外部役員ならびに本校教職員から成る、教育課程編成委員会を設置し教育課程を編成する。	教育課程編成委員会での協議・決定された内容を元に、各部門で教育課程を編成する。	より効果的な教育とは何かを常に再考し、教育課程に反映する努力を継続する。	
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	業界や提携団体の担当者と積極的に意見交換を行い、教育内容に反映させる。	学会や研修会、学外活動への参加を奨励し、外部との接触機会を増やしている。	機会があるごとにヒアリングを行い実現可能なものより積極的に取り入れていく。	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	国家試験合格のみを目標とするのではなく、医療人、商業人としてのキャリア醸成に関わる諸能力の向上を、学生生活の中で学ばせる。	職業教育授業の中で、例えば鍼灸や柔道整復、理学療法といった枠に囚われない職業観を含めた全人的な社会人教育を行っている。	様々な年齢層、社会的背景をもつ者が共に学ぶ環境であるため、教育基準を設定し難い。3年間での特ータルプランニングとコンテンツの工夫が必要。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	各学年次の科目終了毎に選択式と自由記述による授業評価アンケートを実施する。	授業アンケートを実施し、各教員にフィードバックしている。	評価結果表を教員個別に配布し、その改善工夫を求める。その改善効果を可視化する方法の検討が必要。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程編成委員会により様々な協議がされたが、目標達成の程度や施策実施後の効果判定方法などを検討する必要がある。また、具体的なキャリア教育の内容についての意見交換が今後も必要と考える。	専門職業人としてのキャリア教育に必要な基本事項を凡事徹底している。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

3-10 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・単位認定の基準については学則で明確にし、教務会の議を経て、事前に学生に提示する。判定結果に齟齬がないよう本人のみならず保護者保証人への通知・説明を徹底する。	筆記試験・実技試験により成績評価を行っている。一定の評価以上をもって、かつ規定の出席数を満たしている者が単位を認定される。既修得単位に対する認定を実施している。	オリエンテーションや学生のしおりにおいて評価規定を事前に提示している。一応の理解は示すものの学生自身が他人事と捉え、その理解不足がみられる。再度、面談による個別説明を実施している。	学校生活のしおり

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価、単位認定に関しては、本校規定に定めた通りに厳格に行われている。既修得単位認定(単位互換)に関しても規則どおりに行われている。成績判定に関する事前情報（定期試験結果等）を本人のみならず保護者・保証人へ通知することでその理解が得られている。また単位互換により当該単位における本校での学力が判定できないことから、その対応および対策が必要とされる。	定期試験成績は原則として保護者・保証人に郵送にて送付し、現状の認識に齟齬が生じないようにしている。不明な点に対する積極的な説明を実施している。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制				3-11 (1/1)
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	指定規則によりカリキュラム内容が規定されているため、そのカリキュラムに則った編成を行う。	指定規則に規定された以上の単位数があり、それ以外にも本校独自の演習系授業（統合教育科目）を明確に示している。これにより授業時間内における資格取得対策が可能となっている。	年々高難度化する資格試験に対応するため、低学年における早期の取り組みが必要となってきた。自主学習やグループ学習、補習などを積極的に活用して問題解決及び学力向上に寄与する。	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	指定規則に則ったカリキュラム内容に基づいて、国家資格取得のための授業を実施する。	本法人グループ関連校と共同した模擬試験の実施や3年次における国家試験対策を行っている。臨床実技能力については実技科目内容をより臨床的な内容にシフトし臨床応用問題に対する解決能力を高めている。	3年次における対策及び学力向上だけでは不十分な部分がある為、1年次から国家試験合格のためのビルドアップ型教育の実施とその効率化が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
鍼灸科、視能訓練士科は国家試験合格に向けての講義ばかりではなく、国家資格者として恥じない知識構築のための講義、技術習得のための実技や実習ができるカリキュラムを編成している。 学力不足または学習能力の低い学生には担任による支援だけではなく、各科の教員全員が補習にあたっている。 独自資料の配付などその工夫が行われている。	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

3-12 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	養成施設指定（認定）規則ならびに学則で定められた教員資格・要件を備えた教員を確保し教育を実施する。	毎年、指定（認定）規則ならびに学則で定められた教員資格・要件を備えた教員を確保している。	教員の新規採用を公募しており、他校卒業生が毎年入職している。これにより本校出身教員にはよい影響となっている。	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上のため教員研修計画を定め、適切に運用する。	研修制度を設け、教員個人のキャリアアップだけではなく学生へのフィードバックできるものを検討している。	資質向上においては学内のみならず学外における研修を推奨し実施している。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	各部門（学科）の上位に教務会を設置し、各科においては学科長の下、学科長補佐およびクラス担任を配置し、学生対応が効果的となるよう組織する。	組織図および指揮命令系統を整備。教職員会議において教務会、各科会議内容、各委員会等の報告や連絡を行っている。	各委員会における会議は活発に発言され、様々な改善提案がなされている。	教務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員資格・要件を備えた教員は確保するか、十全を目指して努力されている。教員の組織体制も整備されている。</p> <p>臨床経験ないし社会経験の豊富な教員を実技・実習授業に配置している。とくに専任教員には勉強会、研修会への積極的な参加を促し、臨床実技・実践能力の向上を目指して活動している。授業評価のよい教員の授業を新人教員が聴講することを推奨している。</p>	<p>教員のスキルアップには学内の教員のみならず、学園グループにおいてスキルを持った講師を招聘し適宜、講習会等を行っている。</p>

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

基準 4 学修支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高度情報化社会・知識基盤社会においては、伝統的な授業形式である「知識の伝授」よりも、学習者が自らの創造性を開発することを誘導する学習支援に焦点が当てられる。</p> <p>大学行政管理学会初代会長を務めた孫福弘氏は「教育すなわち学習の主役は学習者としての学生であり、教室での授業の役割は、主として学習者の問題意識の喚起と指導助言機能、ならびに必要なに応じた知的技法の付与におかれ、学習活動の中心部分は、キャンパスや街などの空間で学習者の主体的行為として営まれる」と語っておられる。</p> <p>本学では「教員による良質の授業と同時に、学習者の主体的学習を効果的に支援する」ための取り組みを拡充するとともに、医療人、商業人としてのモラルについても主体的に考えられるよう、仕組みづくりに取り組みたい。</p>	<p>医療分野においても商業実務分野においても、学生の専門技術習得の重要性と同等に価値を認められているのがコミュニケーション能力であり、その重要度は近年ますます高まっている。左欄に記した「学習者の主体的学習を効果的に支援する」ために、教員が授業時間外でも学生の相談に気軽に応じ、アドバイザーとして、カウンセラーとして、時には親代わりとなって学生にコミットする姿勢が高まりつつある。</p> <p>当校が社会人を経験したベテラン中途採用者を多く入れている傾向が、学生を多方面からサポートし、学生の主体的学習、行動を支援するための良い環境を形成していることは、当校の目立った特色、個性となっている。</p>

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

4-13 就職率

4-13 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	医療課程学科は就職希望者の就職率 100%を目標とする。 商業実務課程学科は3年間で就職率倍増を目標とする。	就職相談担当に相談に来る学生に対しては、就職完了までマッチングに関する支援を継続して行っている。また「就職相談会」を実施し、学生が直接就職先に相談できる機会を設けている。	概ね卒業生は希望どおりの就職できているが、国家試験合格後に就職活動を行う学生については就職完了の遅れが生じてしまう事例がみられる。時期を逃した学生に対する対策が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職相談会を開催している。これにより求人募集をしている企業に参加を募り、卒業生には就職先企業担当者と直接相談できる機会を設けている。この相談会では企業体の状況や就労環境を把握し、優良企業を見極めや卒業生および現役学生が就職後も業に対して夢や希望が持てることを企図している。	参加した就職企業（企業担当者）から好評をいただいている。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

4-14 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	医療課程の鍼灸科、視能訓練士科は国試合格率 100%を目指す。	視能訓練士科は3年連続100%を達成。 鍼灸科は全国平均合格率はクリアしてきたが29年度は下降、100%の目標は常に掲げている。 商業実務課程はまず倍増を狙う。	専門学校の最優先課題であるからには、教職員全員が目標と問題意識、当事者意識を明確に持って、ひたすら努めるべし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験合格率 100%を目標としていたが、国家試験合格率全国平均を下回ったことから、合格率 100%を達成するための学生個々の現状把握（性格や生活環境など）に則した指導が必要である。 補習を中心とした授業以外での対策方法を積極的に取り入れている。	

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

4-15 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の現状および教育内容の改善という観点から、卒業生の動向について把握する。	同窓会組織と連携することにより同窓会活動に参加する卒業生の状況、卒業生からの在校生への求人状況、一部の卒業生の独立開業状況は把握できている。	業界を離れていく卒業生の把握が極めて困難である。卒業後の連絡体制構築を検討する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会組織や関連団体の情報から一部の卒業生の開業状態は把握できており評価を得ているが、就職先の個人における評価は入手できていない。卒業生の個人情報に配慮した連絡体制（評価の収集）を検討する。	

最終更新日付	2018年 6 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の特徴である「学生との距離が近い教職員とその教育」においてもっとも重要視しているのが学生支援である。</p> <p>特に専門学校学生は高校新卒生から社会人経験者と年齢層も幅広く、人生経験もさまざまである。その学生たちが同じ環境で学ぶにはより多くの意見や要望を学生から拾い上げることが必要である。</p> <p>成績不振者、経済的困窮者には担任ではなく多くの教職員が情報を共有し、学生から相談しやすい環境を整備している。</p> <p>経済的支援に関しては学費分納制度や奨学金、教育ローンの紹介や説明を行い就学意欲が高いにも関わらず経済的に学費未納となり退学、除籍とならないように支援体制を整えている。その一環で本校独自の入学後奨学金制度、を導入している。</p> <p>鍼灸師として資格取得で完結せず、将来にわたって 取得した資格により社会貢献を実施すること。日本国民の健康維持と業界の 発展の一躍を担うことが出来る医療人として卒業すること。資格取得後にさらに希望に満ちた道を示し、後輩を導くことも学生支援の一つであり最終目標であると考えている。</p>	<p>クラス担任制度を開校以来導入し、有言実行。学生個人の学習状況や生活面の相談も 受けている。</p> <p>経済的困窮者には学習成績に応じた、学校独自の奨学金（給付型）を検討し今年度の対象者より運営している。</p> <p>同窓会組織が卒業生のみならず在校生も参加できる講習会を開催している。ここでは卒業年度が違う者同士の交流により、開業情報や就職情報を提供できる相互交流、卒後の情報収集の場となっている。</p> <p>毎春実施される学生の実行委員による「新入生歓迎会」を実施している。この学年や学科を越えた企画イベントは大変に盛況で、学生間および教職員とのコミュニケーションに一役を担っている。</p> <p>就職支援に関しては求人票を学生の手に取りやすい1階正面フロアに設置し、いつでも閲覧可能となっている。さらに担当者が学生、卒業生の就職先希望を汲み取り、また求人企業に対しては積極的に求人情報の収集に努めている。</p>

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

5-16 就職等進路

5-16 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	本校学生に対してよせられる多数の求人票をもとに、個別で就職支援を行い、卒業時、在校時を問わず、高い就職率を維持する。	施術所における学生アルバイトや就職の相談窓口は係の担当者がマンツーマンで相談にのり、就職支援のための環境整備、並びに就職相談会の開催などさまざまな支援を行っている。	求人企業（施術所等）の求人票を掲示している。さらに担当者が求人票をファイリングしたものを希望者に開示している。 随時更新される就職情報を、今後はいかに希望者への情報提供をスムーズに実施するかが課題となっている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
広報事務担当職員や担任が就職等の相談を行っている。また、就職相談担当教員を配置し個別に就職支援を行っている。また、本校に求人票を提出している施術所を招き、学生とのマッチングをさせる就職相談会なども開催し、一定の成果と評価を得ている。	求人企業（施術所）の内容の問い合わせを学生が自由に行うことを廃止予定、学校担当者より一旦連絡をしてから見学・面談等を実施することとしているそれ以降、希望先へのアポイント、就職支援に面接時等の礼節指導も行うようになり好評を得ている。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

5-17 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の前兆である行動（欠席が多くなる等）を早期に把握し、個別に対応することにより退学率を低減する。	学費の滞納、長期欠席、学習意欲の低下による成績不振などの学生に対して、速やかに教職員による面談を実施している。	自身が学校からの連絡を拒否する状況や、保護者へ連絡を行っても保護者自身も学生と連絡が取れないケースなどもあり苦慮している。また保証人が地方に居住している場合があり、容易に面談機会が得られないことがある。その場合でも齟齬が生じないように、十分な説明を実施する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率0%に少しでも近づける努力を怠らない。経済的な事由による退学は事務職員、長期欠席、成績不良による退学は教員が窓口となり、退学に至るまでの早期段階で、教職員と学生がしっかりコミュニケーションを取り、退学を回避する方法を模索し、退学率の低減を図っている。	本校での学習量に関して、入学前のイメージと入学後のギャップにより免許取得の意欲が低下する者が一定数存在する。オープンセミナーや学校説明会等を通して入学前から免許の習得に必要な学習量の理解（イメージ）を高める様な取り組みが必要である。 途中で進路変更を希望する学生には国家資格の意義を伝えて再考を促す。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

5-18 学生相談

5-18 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任制により各学年を運営し、教務部や事務室との密接な連携体制を整えて学生相談に臨んでいる。	学費やハラスメントなどデリケートな問題に対しても担当者を定め、可能な限りきめ細かい対応を実施している。担任のみならず学科教員間、事務職員との密接な連携により個別に対応している。	学生間での人間関係のトラブルにどこまで介入すべきか否かが課題である。 とくにハラスメントに関しては現状認知と注意啓蒙を積極的に実践していく。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	在日する日本国籍を有しない学生に対する相談体制を整備する。	現在は留学生が在籍していない。	在日する日本国籍を有しない学生では、基礎的な文章読解力や漢字力が劣るために授業についていけず、成績不良となる場合がある。個別のよりきめ細やかな対応が求められる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>プライバシーに配慮した相談体制が整備されている。クラス担任制により学生からの相談に対して教務部や事務室との連携を面談等で積極的に行っている。原則、学生の相談は複数人で対応することとしている。</p> <p>留学生に対する相談に関しては留学生が在籍していないために、相談環境は整備されていないが、今後は必要に応じた体制が求められる。</p>	

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	独自の学費支援制度と、外部の支援制度を熟知し、学生一人ひとりにとって適切な支援方法をアドバイスする。	学費の分納や入学時奨学金制度、社会人が就学しやすいように夜間部特別奨学金制度を導入している。日本学生支援機構奨学金制度説明会や個別の学資ローン説明を行っている。	奨学金を貸与されている学生が年々増加している。奨学金を貸与されている認識に乏しい学生も増加傾向で説明会での理解を高める必要がある。学校独自の奨学金制度（給付型）を実施している。	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づく健康診断を全学年に実施し、その他必要と思われる健康管理上の体制は整備する。	民間の健診センター「一般財団法人日本健康管理協会」に業務委託して全学生に健康診断を行っている。	大きな問題は無いが、健康診断で各種抗体検査の結果から反応が出た学生には個別で担当者が相談を行っている。 職場において既に健診を受けた者がいるので、その結果の提出を促している。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	要望があれば、可能な限り十分な支援を行う。	遠方からの通学者が少ないため、学生寮は所有せず、数社の学生マンション（学生寮）斡旋業者と提携し希望者に紹介するという支援にとどまっている。	本校は浦和駅にも近く、沿線には学生向けの賃貸物件が揃う。また近隣には賃貸物件が存在している。専門業者の情報による優良学生マンションの紹介を実施している。	

5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制を充実させる。	学友会（生徒会）を中心に、学生が主体となって活動している。その際、学生の要望に応じて活動を支援している。 学生に野球経験者が多いことから野球部の新設希望が出ている。次年度に活動できるように整備する。	サークル活動希望も出ているが、アルバイトなど学生の都合を考慮した運営に苦慮している。	
-----------------------------	-------------------------------------	--	--	--

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生が学生らしく勉学に勤しめる環境整備に努めている。</p> <p>近郊から通う学生や就労している学生が多いため学生寮などの設備整備やクラブ活動などの課外活動支援は不十分な部分が見られるが、学外インターシップやスポーツ大会等それらに変わる支援を行っている。</p> <p>とくにスポーツトレーナー活動は、学生のニーズも高く、活動しやすいよう学内外のコンテンツの整備が年々充実している。</p>	<p>野球部の新設、活動希望がある。次年度整備活動予定である。</p>

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

5-20 保護者との連携

5-20 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	<p>未成年者の学生に対しては、保護者と適切に連携を取り、教育活動に取り組む。</p>	<p>未成年者の学生における学費未納者、不登校者、成績不良者については、保護者との連携の上、教職員が複数名で個別面談等の対応をしている。</p> <p>原則として本人・保証人・担任・学科責任者の四者面談を実施し、その対応にあたっている。</p>	<p>社会状況から家庭での保護者と学生との対話が少ない傾向がみられる。</p> <p>とくにそのような学生は、本人の就学状況を保護者が把握していないことがあり、問題が生じた場合の説明に苦慮している。</p> <p>家庭における躰に相当部分も学校が担うことが多くみられるようになってきている。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>近年、未成年者の入学が多くなってきているため、保護者には入学式後の保護者向けオリエンテーションの参加を依頼し、学校の教育方針や今後の行事日程の説明と理解を得ている。また、自宅学習の必要性、通学、学費の支援をお願いしている。学費の未納者や不登校者（欠席過多傾向の者）に対しては、早期に保護者と連携をとり、お互いにとって有益な解決策を模索している。</p>	

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	支援要請内容により、教務、事務あるいは同窓会にて適宜必要な支援を行う。	同窓会の担当者を校内に設置し、密接に情報共有している。また同窓会主催の卒業生向け勉強会などに施設使用を優先的に提供している。	年々卒業生の住所変更等に伴う連絡不通があり卒業生への有益な情報が発信できないケースが増加している。 SNS 等を用いた情報更新も検討の必要がある。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	業界団体ならびに同窓会組織等と連携して、卒業生の再教育の機会を積極的に提供する。	同窓会組織による講習会を年に2-3回行っており同窓会が講師料を一部負担している。	講習会の内容は同窓会の役員が検討している。今後は同窓会単独ではなく、産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組む。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	本校は浦和駅の近隣にあり、埼玉県内で社会人が現職を離職することなく通学出来る環境を提供する。	社会人の多くが夜間部に入学する現状にある。	セカンドキャリア・キャリアチェンジを希望する社会人には通学や学修に関する事前ガイダンスを実施する。 学習そのものが生活の負担にならないように十分に配慮している。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会組織と連携して卒業生への各種支援を行っている。 今後も業界や社会のニーズに応える体制や環境整備を進める。 社会人入試を充実させることでキャリアチェンジを支援している。	同窓会、卒業生とは良好な関係を構築、維持しており、業界の有益情報や入学志望者の紹介等の情報交換を行うこともしばしばである。

最終更新日付

2018年8月26日

記載責任者

権名賢太郎

(6)

基準6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>校舎の新築から45年が経過し、建物の老朽化とともに空調設備・照明機器・視聴覚機器・家具類その他什器備品の老朽化が進行しているため、とくに学習教育活動に密接に関連する設備・備品等について、教育環境の快適さの改善、教育効率の改善などを優先して、段階的計画的に更新中である。</p> <p>手洗いやトイレなど水回りの衛生環境、防火設備において適宜メンテナンスによって維持管理している。</p> <p>また、大災害への不安が年々増す中、定期的な避難訓練と、安心して教育が受けられる環境を提供する意味からも、緊急避難の際に必要な備品の整備を進めている。これらは災害対策委員会を設置することでその充実を図っている。</p> <p>人体の構造を理解する環境の充実として骨格模型を積極的に追加購入し、より学生が構造イメージできる環境を提供している。</p> <p>学内実習のみでは得られない教育環境があることから、今後の更なる学外実習の充実に必要な要件を整備していく。</p>	<p>2011年大震災の時も校舎はビクともせず安全であったが、耐震強度の測定を進めており、結果を待って適切な改装工事を行うべく準備中である。</p> <p>館内の衛生については、トイレの悪臭防止対策として床・便器掃除の徹底や消香剤のマメな取り換え、教室内の換気励行に常時注意して実行している。</p> <p>ここ3年で3人の結核菌保有者を出した経験から、換気の改善と殺菌灯の導入を計画中である。</p> <p>授業に使う医療機器や、パソコンと周辺機器のアップデートな導入、取り替えは、現場の教員からの訴求を第一に考え、予算計画を見比べながら、個々の場合に応じて最善の対応を真剣に模索し、実行している。</p>

最終更新日付

2018年8月26日

記載責任者

椎名 賢太郎

6-22 施設・設備等

6-22 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設、設備は、教育に支障がないように整備し、教育に必要な新しい設備は積極的に導入を検討する。	経年劣化している設備については順次計画的に更新していく。	使用頻度の高い、机や椅子の老朽化が激しい。 また廊下やトイレなどの衛生環境はメンテナンスにより維持管理できている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>設立当初の設備・備品等の老朽化が進行しているため、教育活動に密接に関連する設備・備品等について、教育環境の快適さの改善、効率の改善などを優先して、段階的計画的に更新している。</p> <p>使用頻度の高い部分からの劣化が目立つので順次計画的に更新している。</p>	

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	
--------	-----------------	-------	--

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関連組織や機関と連携し、十分な教育体制を整備する。	<p>医療課程の現場での実習は先方のスケジュール優先であるため年間スケジュールに組み込み難いが、個別に交渉の場を持ち、ち密に対応している。</p> <p>海外での短期留学は受け入れ先の大学が国内外の情勢により影響されるなどリスクが高まっており、様子見状態。</p> <p>留学生の就職希望先とのインターンシップは増加傾向にあり、積極的に対応したい。</p>	<p>受け入れの相手先があつてのことであり、種々の困難やトラブルがあつても、相手先との信頼関係があれば、必ず良い方向に向かうことができる。</p> <p>学生を含めた三者間の日頃の信頼関係の醸成が何より大切である。そのような実践を心がけている。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムを変更して学外実習を行えるように整備し、実習実施に力を入れていく。今後はより多くの実習受け入れ先を安定的に確保していく計画である。学外実習の実施に伴い、ビジネスマナーや言葉遣いなど、社会人としての基礎的な素養を学習する機会を得たことはとても有意義であった。	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	椎名賢太郎
--------	------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	年に2回の消防用設備点検等を実施する。災害に備えた建物保険にも加入する。 また統括長を防火防災の管理責任者とした防災の体制を整え、災害発生時には速やかに対応する。	全校での避難訓練（緊急退避行動）の実施。被災時に帰宅困難となった場合の食料、水、簡易トイレ等を備蓄している。	今後は地域の避難施設としての備品等の整備の充実も行う必要がある。 断水・停電等インフラリスクの対応を検討する。 学生教職員において「帰宅困難者」が発生した場合の対応を検討しておく。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	緊急時対応マニュアルを作成し、体制並びに連絡網を整備する。また学生全員を学生傷害保険に加入し、教育活動及び実習等における不慮の事故に備える。	緊急時の対応マニュアルを作成し、教職員が緊急時の対応について共通理解をもっている。緊急連絡網については変更があれば随時更新している。	緊急時の連絡網を再構築し、学生への連絡はホームページの情報を更新することで伝える。	緊急時対応マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
避難訓練を実施することにより、学生の安全意識および教職員の防災・安全管理に対する意識は高まっている。大規模災害時等のインフラリスクに伴う食料・水などの備蓄体制を充実していく。	今後、学生や教職員、地域住民だけでなく、帰宅困難者への対応も考慮した防災・安全管理を行う必要がある。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	稲塚 久馬
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 学生募集</p> <p>入学試験の実施については、さいたま県専修学校各種学校協会の基準（申し合わせ事項）に基づいて実施している。</p> <p>学校案内については、在校生・卒業生のメッセージを多く用いると共に、各学科のカリキュラムや学校生活、卒業後の進路や職業について、受験検討者目線でわかり易く伝える事に努めている。</p> <p>オープンキャンパスや学校説明会を多く実施することにより、受験検討者に複数回来校する機会を設け、本校の特色をよく理解した上で入学してもらえる様に注力している。</p> <p>オープンキャンパスでは、ボランティアの学生スタッフの協力によって、より学校生活を理解して貰える様、積極的に来校者とコミュニケーションを図り、学校、保護者、受験生の距離を近づけている。</p> <p>また高校ガイダンスや進学説明会に積極的に参加し、本校の特色や業界分野をわかり易く伝える事に努めている。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>入学選考は、学則に基づき適正に実施している。選考は入試判定会議を実施し、公平に審査し決定している。</p> <p>3. 学納金</p> <p>3 年間に必要な学納金や在学中に必要な教材等の費用も詳しく提示し、情報提供を行っている。</p>	<p>1. 学生募集</p> <p>近年は受験者数が減少する傾向にある。特に昼間部の志願者や社会人受験者の落ち込みが目立つ。今後は、より丁寧に本校の特徴をアピールして行くと共に、更に社会人に対して、わかり易く情報提供し、職業の魅力をしっかりと伝えていく事が重要である。</p> <p>2. 入学選考</p> <p>従来は社会人経験者の入学者が非常に多かったが、近年は高校新卒者の比率が増えてきている。今まで以上に個人情報取り扱いに留意し、高校との連携を深める必要があると考えている。</p> <p>3. 学納金</p> <p>従来の日本学生支援機構の奨学金制度の説明や国の教育ローンの他、学校独自の家計困窮者を対象とした奨学金制度を創設した。複数の奨学金制度を活用し易く情報提供していく事が必要と考えている。</p>

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

7-25 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	教育機関が必要とする情報は、適切な方法で、速やかに公開・提供する。	教育機関が必要とする情報（就職実績、資格取得実績、必要総学納金額など）は学校案内やホームページにより公開し、必要であれば入試広報スタッフが訪問し、高等学校担当者に説明している。	国家資格合格率や求人数に対する就職率を正確に集計、公表し、迅速な情報提供を行ってきたい。	募集要項 学校案内
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	さいたま県専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づき実施する。	さいたま県専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づき実施している。	高校への認知度を更に高める為に、高校ガイダンスや会場ガイダンスに積極参加している。参加者からの評価は高く、更に充実を図って行く。	募集要項 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試広報に関する組織を充実し、学校案内、受験者及び保護者や高校への情報提供が密に行われている。又、資料請求者から出願、入学に至るまでの情報が一元化され情報は統一されている。今後更に学校認知度を高める活動を行っていききたい。	オープンキャンパス等で来校する高校生が増加している為、更に特色のある体験授業を実施し、丁寧かつより身近に本校の特徴を伝える事で高校新卒者の入学を増やしていきたい。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	椎名賢太郎
--------	------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	全ての入試において、複数の評価基準を設けており、公平な判断を行っている。	入試判定会議において、任命された委員による判定会議にて選考されている。	面接試験を重要としている為、今後も客観的な評価が出来る面接官の育成を続けていきたい。	入試判定会議議事録
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	さいたま県専修学校各種学校協会の入試選抜基準に基づき実施する。	さいたま県専修学校各種学校協会の入試選抜基準に基づき実施している。	選考結果及び受験者から得た情報を的確に整備すると共に、改善すべき点は教務会等で決定し実施して行きたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校長、事務長を中心とし、学科教務担当者が入試判定委員となっている為、この委員で判定会議を行い、適正で公平な選考を実施している。	今後は平日の夜間学校説明会、休日のオープンキャンパス等を実施し、更に特色のある体験授業として、より丁寧に本校の特徴を伝えることで高校新卒者や社会人の入学を増やしていきたい。

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	椎名賢太郎
--------	------------	-------	-------

7-27 学納金

7-27 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	月単位で経費構成を把握し、学納金構成に対して、適正に推移しているかチェックする。	経理担当者が、経費処理の際に、部門ごとの集計できる運用方法により、月次で管理している。	現在まで、大きな問題は生じていない為、今後も現状の体制を維持発展させる様に努めて行きたい。	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	辞退を受付ける期限・連絡先、授業料の返還等については、募集要項に明記し、迅速な対応を行う。	辞退者には辞退届を提出させ、授業料返還等の手続きについて説明するとともに、円滑に遂行できるように体制を整えている。	現在まで、大きな問題は生じていない為、今後も現状の体制を維持発展させる様に努めて行きたい。	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ホームページ、学校案内、保護者向けパンフレットを通じ、受験者、又は保護者に対してもわかり易く情報提供が出来る様心がけている。	奨学金制度を含めた学納金の情報が重要になっている為、今後も更なる情報共有を図って、受験者や学生に適切なアドバイスが出来る様に実施して行きたい。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校法人会計基準及び学園寄付行為に則り、会計年度終了後、二か月以内に学園監事による監査を受け、理事会及び評議員会から承認を得る。</p> <p>学生納付金の確保、固定費用の抑制をはかり、学校の中長期において安定した運営をできる範囲の資金を調達・維持・管理を行う。</p> <p>内部統制に力をいれ、資金の流れを明確にし、複数の承認によって資金を動かすことができるようにすることにより、学園資産の安定化を万全に行う。</p> <p>将来的には、財務諸表の公開なども念頭に入れる。</p>	<p>29年度決算は、学園全体として、埼玉県からの補助金が1,000万を超えているので、公認会計士による監査をうけ、監査報告書も、提出書類に添付した。</p>

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な学校の財務基盤の安定を第一に考える。	平成 29 年度の学園全体の帰属収入が消費支出を上回り、中長期的には安定要因が上回っている。	設備の老朽化による更新等で大きな支出が必要となってくるため、中期の構想に基づく財務計画が必要となる。	
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握する。	主要な財務数値の推移は把握している。	財務数値の推移の把握だけでなく、経営分析への過程へと発展させることが必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務の健全性を追求した結果、学費等納付金の総額に比べ、人件費や研究費などの金額が抑えられていたため、納付金に応じて、増額する必要が出てきた。	30年度には、職員、教員の増員を行い、また、老朽化した施設の補修、改修などを行い、よりよい教育環境の構築に努めている。

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	権名 賢太郎
--------	-----------------	-------	--------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	年度予算、中期計画は、目的目標に照らして、有効かつ妥当なものとする。	年度予算は有効で妥当なものとなっている。中期的な計画は見込んではあるが、より精度は高める必要がある。	4半期ごと、半期ごとの確認作業で、修正・補正に対応する。	
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は年度計画に基づき適切に執行する。	学園内に監査職を設置し、計画的に執行されている。 事業計画に基づく事業報告書を毎年度、理事会、評議員会に報告している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
予算、収支計画は、理事会、評議員会で審議され、作成されている。 年度ごとの予算の執行内容は妥当である。	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	権名 賢太郎
--------	------------	-------	--------

8-30 監査

8-30 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	財務について、会計監査担当職員が随時適切に実施する。	会計監査は、監査法人による審査と指導を受けている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は、監査法人公正にて、適切に実施されている。	

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	椎名 賢太郎
--------	----------------	-------	--------

8-31 財務情報の公開

8-31 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法における財務情報公開の形式に準じて、財務情報公開を実施する。	私立学校法における財務情報を所定の形式で、学園の一部門として、ホームページにて公開を検討している。	本校のホームページからも容易に閲覧できるよう検討を重ねていく必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	椎名 賢太郎
--------	----------------	-------	--------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、専修学校設置基準ならびに、医療課程においてははり師、きゅう師、視能訓練士等に関する法律、及びはり師、きゅう師、視能訓練士に係わる学校養成施設認定規則、はり師、きゅう師、視能訓練士等に関する法律施行規則に基づき粛々と教育活動を行っている。また、臨床家として当然に求められる、法令遵守の精神を教育に 取り入れている。</p> <p>商業実務課程においては29年度現在学生全員が海外からの留学生であり、入国管理法の徹底遵守が求められている。現在本校は適正校基準を満たし、これを今後長く維持することが、職員の行動規準ともなっている。</p>	<p>過去に学校経営陣の旧弊な考えから、法令違反を起こしたこともある苦い経験を薬とし、本年度に経営陣の若返り刷新を敢行した。「過去の轍は2度と踏むまい」を合言葉に全員が意識を高めて法令遵守にあたっている。</p>

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	稲塚 久馬
--------	----------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

9-32 (1/1)

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適切な学校運営を行っているか	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行う。	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行っている。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守は当然のことであり、教職員はもとより、学生に対しても指導を行っている。	

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	
--------	----------------	-------	--

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	規程に基づき個人情報保護に取り組む。	インターネットクラウド上では個人情報のやり取りを行わない事としている。 情報については厳重なバックアップを取っており、万一の際の情報喪失にも対応できる。	インターネットに接続しないPCを導入、バックアップを行い、個人情報の一括管理を行っている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については、個人情報保護法の施行以来一層の厳格さが求められ、組織等からの情報漏えいについては社会的信用の失墜にもつながるため、厳重に管理していきたい。	

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	文部科学省作成の学校評価ガイドラインに従い体制を整備し、評価を行うべきである。	評価項目毎に自己点検・評価は行われ、自己評価委員会を取りまとめている。	現行の自己評価委員会を維持し引き続き適切な評価体制を維持していくべきである。	
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・評価結果は、ホームページにて公開する。	評価項目ごとの自己点検・評価は行い自己評価委員会を取りまとめているが、まだ未公開である。	速やかに取りまとめて、ホームページ等で公開する必要がある。	
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	文部科学省作成の学校評価ガイドラインに従い体制を整備し、評価を行うべきである。	評価項目ごとの自己点検・評価は行われ、自己評価委員会を取りまとめている。 学校関係者評価の実施体制を整え、評価を行っている。	現行の自己評価委員会を維持し引き続き適切な評価体制を維持していくべきである。	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果をホームページに公開する。	学校関係者評価結果をホームページに公開している。	現行の自己評価委員会を維持し引き続き適切な評価体制を維持していくべきである。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学校点検・評価項目について、文部科学省作成の学校評価ガイドラインに沿う形式に取りまとめている。自己評価委員会、ならびに学校関係者評価委員会等の実施体制も整備されている。	自己評価委員会、ならびに学校関係者評価委員会等の実施体制を維持し、今後も引き続き適切な評価体制の維持に努めたい。

最終更新日付	2018年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	----------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報に関する情報公開を学内外に対して積極的に行う。	シラバス等の教育情報を冊子にまとめ、学生に配布している。 学外に対しては、授業やゼミナール等の情報について、授業の取材記事や学生の感想等の定性的な情報も含め、学校のホームページ等で積極的に公開している。	入学・進級時の配布物として、すべての学生に毎年度配布しているが、内容の理解不足もみられるため、繰り返し周知する必要がある。	学生生活のしおり

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学内に対しては、新年度ごとに、教職員には教員便覧、学生には学生のしおりを制作・配布し、積極的に教育内容を公開している。</p> <p>学外に対しては、カリキュラム内容はもちろんのこと、授業の取材記事や学生の感想等の定性的な情報も含め、教育活動内容について学校のホームページ等で積極的に公開している。</p> <p>入学検討者に対しても授業見学等は希望があれば随時受け付け対応している。</p>	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であり、学校としても社会貢献・地域貢献に対する意識は高い。</p>	<p>29年度の経営体制一新により、より開かれて、より多くの多彩な学生を育て、より広く学校周辺の人々や社会に貢献する、学校作りの方針が確認された。 学校周辺の住民の方たちとはより良い友好関係を築き、学生たちの地域へのとけこみ、学生たちが行う臨床実習への参加等を進めている。</p>

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校の人的、物的資源を活かした社会貢献、地域貢献を積極的に行う。	地域住民を対象とした、健康セミナーや、啓蒙活動イベントにおける無料健康相談などを実施している。	地域の要請に効率よく対応するため、対象および募集方法、活動時間などの再検討が今後の課題である。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	東南アジアを中心に諸外国の教育機関との提携を充実、発展させる。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であり、学校としても附属施術所を中心とした近隣地域および各団体との連携を推進している。健康に関する啓蒙活動、無料健康相談を開催するなど、地域住民の健康維持・増進活動に貢献している。</p> <p>地域社会における様々な要請にも答えるべく必要な整備をすべく努力している。</p>	<p>津波災害等の避難施設としての期待に応えるため必要な資材備蓄している。</p> <p>附属施術所において</p>

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	ボランティア活動の機会を提供し、奨励支援していく。	各種スポーツ活動、地域活動に対するボランティア活動について、学内掲示等を用いて随時募集を行っている。	内容（質と量）を検討し、教育編成に組み込めるように整備する。実施時期については常に学校行事との調整をする必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	2018 年 8 月 26 日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	-----------------	-------	-------

基準 1 1 国際交流

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であるとともに、留学生の受け入れも積極的に行っており、国際交流は活発である。</p> <p>本校は地域医療の担い手を育成する教育機関であるとともに、留学生の受け入れも積極的に行っており、国際交流は活発である。</p> <p>留学生の受け入れは、そのほとんどが日本国内の日本語学校経由である。日本語学校への訪問活動や説明会等は、頻繁に実施している。</p> <p>その結果、平成28年4月に134名の留学生を受け入れ、進級生と合わせて5月1日時点の留学生総数は250名であった。新入生を出身国別に見るとベトナムが最も多く、以下ネパール、中国と続いている。合計7ヶ国から受け入れた。一方で、本校学生の海外への派遣は、手掛けていない。</p>	<p>法務省が、入国・在留審査方針上、専修学校に係る在籍管理能力について主に不法残留者の発生率の大小をもって判定する「適正校」の認定について、本校は、平成19年度より留学生の受け入れを始めて以来、毎年継続して認定されており、平成28年度も認定された。</p>

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------

11-38 国際交流

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
11-38-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	東南アジアからの留学生を中心に、日本語学校との提携を重視している	現在20校の日本語学校と、指定校の提携を結んでいる。		
11-38-2 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	留学生受入れまたは、在籍管理等のための入国管理局への取次申請は、取次申請の資格を持った職員が行っている	取次申請の資格を持った職員の人数は4名である。適正校の指定を受けている。		
11-38-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	学修・生活指導においては出席率を重視している。	出席状況を毎日確認している。また、月1回、出席不良者への指導会議を実施している。出席率が80%以下の留学生へは、日常生活のあり方も含めて、担任が面談を行い指導をしている。	直接または電話にて状況の確認と出席指導を行っているが、急に出席の途絶える学生や電話連絡の取れなくなる学生とのコンタクトのとり方が問題である。	
11-38-4 学習成果が国内外で評価される取り組みを行なっているか	国内の企業で活躍できる人材の育成を目指したカリキュラムの実施が重要である。	毎年、学園祭の場において、学修成果を発表している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
若年層日本人の減少とともに、外国人労働者への依存は確実に拡大している。本校は、日本の会社のニーズに応えることのできる人材の育成を重視して、教育活動を行っている。また、日本の会社で仕事を学び 母国に戻って起業をしたり、指導者として活躍できる人材が出てくれることを望んでいる。	

最終更新日付	2018年8月26日	記載責任者	竹岡 宣博
--------	------------	-------	-------